

ペルシャ王朝の呪いか、シルクロードの誘惑か！

今サーグースの歌が流れ、二人、また一人殺されてゆく。そして誰もいなくなった。だが

雄大なロマンと、絢爛たる

世界10大スターに彩られた

クリスティ・クライム・ミステリー



ペルセポリスの宮殿に招待された10人に何が起きたのか？

完璧なトリックとラストの
凄いドンデンがえし——
結末は絶対に
話さないで下さい！



AND THEN THERE WERE NONE

そして誰もいなくなった

〈テクニカラー〉 アガサ・クリスティ原作・早川書房刊

オリバー・リード エルケ・ソマー
シャルル・アズナブール リチャード・アッテンボロー
ステファヌ・オードラン ゲルト・フレベ
ハーバート・ロム / アドルフォ・セリ
マリア・ロム / アルベルト・デ・メンドーザ
〈特別出演〉オーソン・ウェルズ



ミシェル・ラベン
(歌手)
シャルル・
アズナブール
(フランス)

姿なき招待主U・N・オーエン氏の第1の犠牲者。

〈マザーグースの歌〉を歌い終ると同時に毒殺／彼はかつて、パリでスターン夫妻を残忍な方法で殺害したが、証拠不十分のため無罪になった過去を持つ。

はたして、彼のピアノの弾き語りに謎がかくされていたのか？

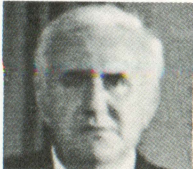


エルサ・マルティエノ
(召使いマルティエノの妻)
マリア・ローム
(オーストリア)

第2の犠牲者。ペルセポリス、百柱の間で絞殺／

彼女は夫と共謀して、元の雇い主を残忍な方法で病死させ、その財産を自分たちのものにした。

彼女は夜中、なぜ百柱の間まで出向いて殺されたのか？謎は深まるばかり……



サルベ將軍
(退役老軍人)
アドルフォ・セリ
(イタリア)

5人の兵士を死地に追いやりながら、自分は平然と名誉勲章を受けた。

退役後、罪の意識にさいなまれ続けた彼は、死を覚悟。オーエン氏の捜索にのり出す。それは輝かしい戦歴を持つ老將軍の最後の闘いだっ

た。彼は宮殿の庭で地下室を発見。そこで見たものは……。



オットー・マルティエノ
(召使い)
アルベルト・デ・
メンドーサ
(アメリカ)

妻エルサがオーエン氏の第2の犠牲者になったというのに平然としている。

オーエン氏の執行する連続殺人は彼の仕業なのか？皆の目が彼に向けられた。

疑惑の視線に耐えきれず、彼は宮殿を抜け出した。空港のある町までは300キロもあるというのに……。



イローナ・モーガン
(女優)
ステファヌ・
オードラン
(フランス)

彼女はパスポート修得のため、愛のない結婚をし、戦火の広がったベトナムに夫を置きざりにした。その過去を知る者がオーエン氏のほかに、まだ一人いたのだ。

このスキャンダルをマスコミに知られたら、女優生命は終り／

彼女の瞳に青白い殺意の炎が……。

そして誰もいなくなった

アガサ・クリスティ原作(早川書房刊) (テクニカラー)
謎ミステリアス・ボイス(オーソン・ウェルズ)が仕組んだ
謎とは……
謎のマーブルもボワロもない。
謎をとくのはあなた！



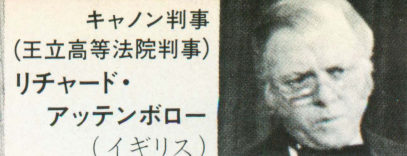
世界103ヶ国、5億人のファンを持つという今世紀最大のミステリー作家、アガサ・クリスティの最高傑作、待望の映画化です。

この原作はかつて、名匠ルネ・クレール監督によってB&W作品として映画化されましたが、今回は、砂漠にそびえるペルセポリスの宮殿を背景に、世界10大スターを配して製作されたミステリー超大作です。

ペルシャ(イラン)の都イスファハーンから遠く離れた砂漠に、こつ然と浮かぶペルセポリスの宮殿。そこに見知らぬ10人の男女が招待された。だが、晩餐会が始まったというのに招待主の姿がない。それ以上奇妙なことに、招待主を知っている者が誰もいないというのだ。やがて、〈マザーグースの歌〉と同じように1人、また1人と殺されてゆく。

犯人は一体誰なのか!?
ラストは原作にもない、あっと驚くドンデン返し。

クリスティ自身が「私の作品の中で最も好きな作品／＼と断言するこの名作のため、世界中から豪華でユニークなスターが結集しました。監督はミステリー派の才人、ピーター・コリンソン。神秘的なペルシャのムードとクリスティ・ミステリーをたっぷり堪能して下さい。

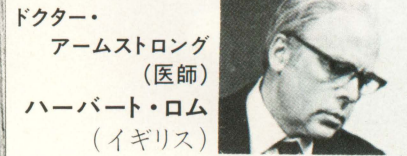


キャノン判事
(王立高等法院判事)
リチャード・
アッテンボロー
(イギリス)

無実を主張するエドワード・セトンを、絞首の刑に処した。絶対に他人が知ることのない秘密をなぜオーエン氏が……。

長年つちかっていた感と推理力で、彼はオーエン氏の正体を探り始めた。

宮殿のからくりは、10人の本当の姿は、やがてその推理が核心に迫った時、彼は一計を巡らせた。



ドクター・
アームストロング
(医師)
ハーバート・ロム
(イギリス)

神聖かつ信頼されるべき職業にありながら酒におぼれ、若い女性の手術に失敗。死にいたらしめた。

連続殺人の死体のそばには必ず彼が。そして、自分がアル中であることをひたすらに隠し、見えない影におびえる。

彼はオーエン氏の正体を知っているのか？



ウィルヘルム・ブローア
(私立探偵)
ゲルト・フレーベ
(ドイツ)

法廷で偽証をし、無実の男を独房内で自殺に追いやった。

オーエン氏に雇われてこの宮殿に来たが、逆に雇い主を探すことになる。

1人殺されるごとに、1つずつ叩きこわされてゆくインディアン人形の謎。彼はその秘密をかぎつけた。そして、ペルセポリスの高台で……。



ヒュー・ロンバード
(元空軍パイロット)
オリバー・リード
(イギリス)

自分の子供をみごもったジェニファーを殺害した。だが、彼のバッグには別人のネームが……一体彼は何者なのか？

ロマンチックなペルセポリスの遺跡は、彼とベラをミステリアスな恋に導く。が、ベラを愛しているはずの彼が、銃を片手に彼女の寝室へ。なぜ／意外な事実が彼を待っていた。



ベラ・クライド
(セクレタリー)
エルケ・ソマー
(ドイツ・アメリカ)

妹のフィアンセ、リチャードを毒殺した。その魅惑の瞳とグラマラスな姿態でロンバードをとりこにするが……彼女も何かを隠している。1人また1人殺され、そして誰もいなくなった／オーエン氏は一体どこにいるのか!?それとも……。

この映画のラストには驚くべきトリックがかくされています！

9月19日(土)お祭りミステリー・ロードショー!
●お得な特別鑑賞券1200円好評前売中!(劇場及プレイガイド)

伊勢丹前シネ・タウン
新宿文化シネマ2 (354) 2098